

応募書 記載ポイント

応募書の記載にあたり、参考にしていただきたいポイントを掲載しています。

○「交流の内容」「交流の成果」「今後の展望」について

- ①できるだけ詳細・具体的に記載してください。
- ②成果については、可能な限り数値などでお示しください。内容・成果が不明確で評価に影響する場合があります。
- ③【審査のポイント】に記載されたもののほか、下記のような点も参考にしています。
 - (例)・周年事業以外の、平年ベースでどのような交流が行われているか
 - ・交流相手先との双方向性のある交流となっているか
 - ・交流相手先にどのようなインパクトを与えているか
 - ・交流相手先の市民も参加した交流となっているか
 - ・交流相手先に対する自治体のPRにつながっているか
 - ・目標やテーマを立てて、それに向かった事業展開となっているか
 - ・人材育成や、市民の国際感覚の醸成につながっているか
 - ・(複数の相手先と交流している場合) 複数の交流がうまくリンクしているか
 - ・行政課題を解決するための交流となっているか
 - ・(都道府県の場合) 管内の市町村も巻き込んで交流している
- ④このほか、多文化共生の取組により国際交流に発展したもの(例: 多文化共生先進都市同士の多文化を切り口とした交流、地域の外国人住民との地域交流がきっかけでとなった都市間交流等)も募集しています。

○「参考資料」について

- ①参考資料から伝わる熱意も評価します。
- ②提出形式が守られていれば、複数の資料をそのまま添付頂いても、パワーポイントなど一つの資料にまとめて頂いてもかまいません。
- ③交流の様子がわかるような資料のみではなく、交流の成果がわかるような数値などの資料も評価の参考となります。
- ④プロモーション動画や活動の様子を撮影した動画や、事業内容についてのプレゼンテーション動画を添付していただくと事業の内容や熱意などが伝わりやすいです。

たくさんのご応募をお待ちしております！